

まなビレッジ

「2015」のご案内

株式会社NOWVILLAGE



**今、仕事をしていく上で必要とされる知識を向上し、
明日からの人生をより豊かにしよう！**

それぞれのビジネス場面に応じたコースを準備しました。

**しっかりと学びたい方は、
2日コース・1日コースでまなぶ。**

**少し忙しい方は、
短時間コースでまなぶ。**

**プライベートでも活かすコトを学びたい方は、
夜コースでまなぶ。**

**それぞれの方の状況に応じて受講できるのが、
「まなビレッジ」なのです。**



1. 早割り

講座実施の2か月以上前に申し込むと10%Off！！

2. ボリュームディスカウント

5名以上同時に申し込むと10%Off！！

3. リピート割

半年以内に再度、講座を申し込むと10%Off！！



ビジネスの場面で必要とされる それぞれのコース



源流コース



変化を求められる時代。
既存のビジネスから新たなビジネスを生む
ヒントを得られるコース。

超上流コース



システム化する上で、要求を仮説立案から
要件定義書・システム設計書につなぐまでの
スキルを得られるコース。

上流コース



プロジェクトにおいて、マネジメントする
立場の方へ向けたコース。

IT技術トレンドコース



最新技術やプログラミング・インフラ構築に
おけるスキルを得られるコース。

ビジネスの場面で必要とされる それぞれのコース



資格コース



現在のスキルを証明するために不可欠な資格取得の支援をするコース。

グローバルコース



オフショア開発等、今や海外とのヤリトリが当たり前になりつつ時代。グローバルに活躍するためのスキル習得コース。

ビジネスコース



様々なビジネスの場面で、活躍できるようにするため、知っておくべきビジネススキルを習得できるコース。

若手マインドコース



失敗をしながらも大切な経験ができる20代早期戦略化を狙い、成果の最大化を図るためのコース。

コース一覧 (1)



源流コース

NO	講座名	日数	費用	担当講師	時間	実施日程
1	イノベーションのための発想法 (基礎) ※7PDU付与コース	1日	¥40,000	中谷英雄	10:00~17:00	7月17日 (金)
2	イノベーションのための発想法 (実践) ※7PDU付与コース	1日	¥40,000	中谷英雄	10:00~17:00	8月21日 (金)
3	失敗しないビジネス企画入門	2日	¥80,000	志賀澄人	10:00~17:00	11月5・6日 (木・金)

超上流コース

NO	講座名	日数	費用	担当講師	時間	実施日程
4	提案型SEのための非機能要件定義入門	2日	¥80,000	志賀澄人	10:00~17:00	8月3・4日 (月・火)
5	提案型SEのための要求開発入門	2日	¥80,000	志賀澄人	10:00~17:00	10月5・6日 (月・火)
6	提案型SEのための業務再構築入門	2日	¥80,000	志賀澄人	10:00~17:00	10月19・20日 (月・火)
7	アジャイル開発マネジメント※14PDU付与コース	2日	¥80,000	中谷英雄	10:00~17:00	11月16・17日 (月・火)
8	提案型SEのための要求定義入門	2日	¥80,000	志賀澄人	10:00~17:00	11月19・20日 (月・火)

上流コース

NO	講座名	日数	費用	担当講師	時間	実施日程
9	提案・見積実践 ※7PDU付与コース	1日	¥40,000	中谷英雄	10:00~17:00	7月16日 (木)
10	ステークホルダーマネジメント実践 ※7PDU付与コース	1日	¥40,000	中谷英雄	10:00~17:00	8月20日 (木)
11	プロジェクトマネージャのための人間関係強化 ※7PDU付与コース	1日	¥40,000	佐藤義男	10:00~17:00	9月17日 (木)
12	プロジェクトマネジメント基礎 ※7PDU付与コース	1日	¥40,000	佐藤義男	10:00~17:00	10月22日 (木)
13	プロジェクトマネジメント実践 ※7PDU付与コース	1日	¥40,000	佐藤義男	10:00~17:00	11月9日 (月)

IT技術トレンドコース

NO	講座名	日数	費用	担当講師	時間	実施日程
14	Hadoopアプリケーション開発	2日	¥80,000	米山学	10:00~17:00	7月30・31日 (木・金)
15	NoSQL DBによるアプリケーション開発	2日	¥80,000	米山学	10:00~17:00	8月27・28日 (木・金)
16	データ・サイエンティスト入門:ビッグデータとデータ分析	1日	¥40,000	米山学	10:00~17:00	8月31日 (月)
17	VMWare vSphere 仮想環境ネットワーク構築	2日	¥105,000	LINK	10:00~17:00	10月29・30日 (木・金)
18	WindowsによるLAMP開発	2日	¥94,000	LINK	10:00~17:00	12月3・4日 (木・金)

コース一覧 (2)



資格コース

NO	講座名	日数	費用	担当講師	時間	実施日程
19	ITILファンデーション試験対策 (試験付)	3日	¥150,000		9:30~17:30	7月27・28・29日(月・火・水)
20	LPI Level1 Exam 101 合格への道 (受験チケット付)	3日	¥75,000	新谷泰英	10:00~17:00	8月6・7・8日(木・金・土)
21	筆者が教える Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 7 合格への道	3日	¥75,000	志賀澄人	10:00~17:00	9月10・11・12日(木・金・土)
22	VMware社認定資格VCA-DCV対策 (試験付)	2日	¥128,000	LINK	10:00~17:00	10月1・2日(木・金)
23	営業強化検定試験対策	2日	¥50,000	NOWVILLAGE	10:00~17:00	10月9・10日(金・土)

グローバルコース

NO	講座名	日数	費用	担当講師	時間	実施日程
24	英語自己学習への道	120分×5回	¥25,000	コラボレート研 究所	19:30~21:30	10月14・28、11月4・18日, 12月1日(水)
25	『旅の指さし会話帳』による中国語入門	90分×5回	¥25,000	趙萌	19:30~21:00	9月16日,10月7・21日, 11月11,25日,12月2日(水)
26	ベトナム語自己学習への道	実施時期未定				

ビジネスコース

NO	講座名	時間	費用	担当講師	時間	実施日程
27	エッセンス150!「ビジネス文書」	2時間半	¥8,000	HRD研究所	18:30~21:00	7月29日(水)
28	エッセンス150!「ヒアリング」	2時間半	¥8,000	HRD研究所	18:30~21:00	8月26日(水)
29	エッセンス150!「交渉力」	2時間半	¥8,000	HRD研究所	18:30~21:00	9月2日(水)
30	エッセンス150!「課題整理」	2時間半	¥8,000	HRD研究所	18:30~21:00	9月30日(水)
31	エッセンス150!「ファシリテーション-効果的な会議の進め方」	2時間半	¥8,000	HRD研究所	18:30~21:00	10月14日(水)
32	コト(事・システム)系とヒト(人)系のフレームワーク	1日	20,000円	副島 知種	10:00~17:00	9月1日(火)
33	思いを実現させるための自律した心と体づくり	90分	8,000円	山本 ケイイチ	19:00~20:30	9月2日(水)

若手マインドコース

NO	講座名	日数	費用	担当講師	時間	実施日程
34	考える力~多様な思考プロセスを習得~	2日	¥50,000	NOWVILLAGE	10:00~17:00	7月13・14日(月・火)
35	学ぶ力~新人フォロー・2年目フォローのため~	2日	¥50,000	NOWVILLAGE	10:00~17:00	7月21・22日(火・水)
36	成長する力~仕事を通じて成長をすとは~	2日	¥50,000	NOWVILLAGE	10:00~17:00	9月8・9日(火・水)
37	クランボルツ教授監修「キャリアレバレッジ」	1日	¥25,000	NOWVILLAGE	10:00~17:00	10月21日(水)
38	経営シミュレーション ~会社経営でBS・PLを知る~	2日	¥50,000	NOWVILLAGE	10:00~17:00	10月26・27日(月・火)

イノベーションのための発想法（基礎）

（7PDU付与コース）



概要

「源流」におけるイノベーションを起こす発想法の基礎スキルと、創造的未來を発見するために必要不可欠となる「パラダイムシフト」のスキルを獲得します。

ビジネスモデルの企画、新商品の企画、新事業創出をミッションとして期待されている方、今後この分野のスキルを身に付けたいとお考えの方に最初に参加していただきたいセミナーです。

講義：演習の割合は 3：7です。7PDU付与コース

対象者

超上流フェーズに携わる情報システム部門、情報グループ会社の方
あるいは、それを支えるベンダー企業担当の方

実施日時

2015年7月17日（金） 10:00～17:00

費用

40,000 円（税別）

講義内容

学習目標

1. 革新的イノベーションを起こす上で必要となる基礎スキル（各種発想法、イノベーション創出プロセス）を獲得する。
2. 創造的未來を発見する「パラダイムシフト」実践の基礎スキルを獲得する。
3. 革新的イノベーションを継続し続ける上で組織・チームとして克服すべき条件を理解する。

カリキュラム

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 1. <u>イノベーションとは何か</u> | 3. <u>発想法</u> |
| 2. <u>イノベーションを起こす上で必要となる基礎スキル</u> | ✓ 発想法のいろいろ |
| ✓ デザイン思考とそのプロセス | ✓ パラダイムシフトの実践 |
| ✓ クリティカルシンキング | |
| ✓ イノベーション原則 | |
| ✓ 機能的問題解決 | |
| ✓ 創造的問題解決 | |
| ✓ モード、マインドセット、メソッド | |

イノベーションのための発想法（実践）

（7PDU付与コース）



概要

「源流」におけるイノベーションを起こす発想法で、現実の問題を分析し解決策を提示します。アイデアの創出から現実化するプロセスを実践し、各プロセスでどの発想法を利用すればよいのかを体験します。1日間でじっくり学びます。

講義：演習の割合は、2：8です。7PDU付与コース

対象者

超上流フェーズに携わる情報システム部門、情報グループ会社の方
あるいは、それを支えるベンダー企業担当の方

実施日時

2015年8月21日（金） 10:00～17:00

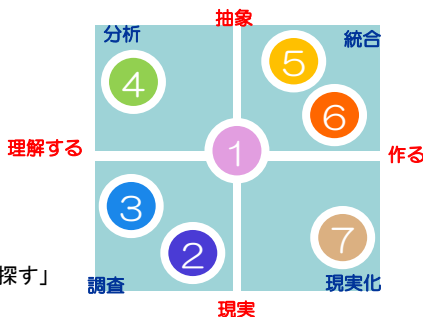
費用

40,000 円（税別）

講義内容

カリキュラム

1. Mode1:機会を捉える
2. Mode2:コンテキストを知る
3. Mode3:人々を知る
 - 演習1:人々を知る
 - 演習2:顧客経験を理解する
 - 演習3:写真で観察
 - 演習4:映像で観察
 - 演習5:「別なカテゴリーから面白いアイデアを探す」
 - 演習6:「極端なユーザーを探す」
 - 演習7:隠れたゴールを類推する
4. Mode4:インサイトを形づくる
 - 演習8:インサイトの本質とは？
 - 演習9:ストーリーの重要性を理解する
5. Mode5:アイデアを探索する
 - 総合演習1:社会システムへのアイデア提示



総合演習では、「社会システムへの課題」について、人々の潜在ニーズを捉え、問題をリフレームし、ゲームの枠組みを変え、優れたアイデアを生み出すことに挑戦します。そして、経済価値を創造しながら、社会的ニーズに対応することで社会的価値も創造することの重要性を理解して頂きます。

失敗しないビジネス企画入門



概要

現代のビジネスのスピードと、ソフトウェア開発のスピードは一致しません。ビジネスの変化のほうに圧倒的に早く、ソフトウェアを開発している間にも刻々と変化していきます。当初のビジネス企画の有効性や、そのビジネスを実現するITそのものの有効性も刻々と変化し、開発途中で方向転換が欠かせません。そのため、発注者やユーザー、エンジニアなどすべてのステークホルダーは「変化に追従する」能力を求められています。

そこで本研修では、ビジネス企画とソフトウェア開発において変化に追従する方法論としてのリーンスタートアップとスクラムについて学びます。演習では、ビジネス企画をアジャイルに進めることで、アジャイル開発の各プラクティスの効果を確かめます。

対象者

これから上流工程に携わる方
顧客に提案をする立場、もしくはこれからその立場になる方

実施日時

2015年11月5・6日(木・金) (2日間) 10:00~17:00

費用

80,000円(税別)

講義内容

《1日目》

1章:ビジネス開発とは何か
従来のビジネス開発の現状と課題
仮説検証型ビジネス開発の必要性
2章:仮説検証型ビジネス開発とは何か
スクラムのプロセス
3つの役割
3つのプロセス
5つのイベント

3章:仮説検証とビジネス企画
ビジネスの変化とリスク
仮説検証型ビジネス企画
【演習】
1. 仮説となる課題を見つけ出す(60min)
2. 仮説の前提条件と検証方法を検討する(60min)
3. 仮説検証のフィールドワーク(180min)

《2日目》

4章:ビジネス開発のプラクティス
ビジネスを理解・合意する
ビジネスを見積もる
振り返り
タスクの管理
【演習】
4. フィードバックから仮説を検証する(120min)
5. 仮説検証のフィールドワーク(120min)
6. ソリューションを形作る(120min)

提案型SEのための非機能要件定義入門



概要

品質とは何か?という問いに漏れなく答えられる人は多くありません。そもそもどのような品質があって、それがどの程度まで求められていて、その優先順位はどうなっているのかを顧客としっかりと話し合うエンジニアは多くありません。それにも関わらず、品質優先というキーワードだけが独り歩きし、その結果、顧客からコスト度外視の対応を求められることも。品質に関する問題の原因は、顧客とのコミュニケーションが不足していることです。顧客と十分に品質について話し合うことができたのなら、無駄なコストをかけない高い品質を提供できるようになるでしょう。本研修では、品質そのものである非機能要求を導きだし、そこから非機能要件を定義するコミュニケーションプロセスとその成果物であるアーキテクチャについて学びます。

対象者

これから上流工程に携わる方
顧客に提案をする立場、もしくはこれからその立場になる方

実施日時

2015年8月3・4日(月・火) (2日間) 10:00~17:00

費用

80,000円(税別)

講義内容

《1日目》
1章:非機能要求とは何か?
機能要求と非機能要求
非機能要求と品質特性
品質駆動開発と品質特性シナリオ
2章:非機能要求の抽出
可用性に関する品質特性シナリオ
変更容易性に関する品質特性シナリオ
性能に関する品質特性シナリオ
セキュリティ性に関する品質特性シナリオ
テスト容易性に関する品質特性シナリオ
使いやすさに関する品質特性シナリオ

【演習】
各品質特性シナリオの洗い出し(各50min)

《2日目》
3章:非機能要件の定義とアーキテクチャ記述
可用性の実現
変更容易性の実現
性能の実現
セキュリティ性の実現
テスト容易性の実現
使いやすさの実現
【演習】
各品質特性シナリオの洗い出しの続き(各50min)
ラフアーキテクチャの策定

提案型SEのための要求開発入門



概要

本 当の要求を発見し、創造する要求開発の方法とエンジニアとは異なる経営視点を学習します、待つばかりのエンジニアのマインドを改革することで、過去の延長線上の未来ではなく、未来から逆算した現在を描けるエンジニアを育成します。

講義30%:演習70%

対象者

これから上流工程に携わる方
顧客に提案をする立場、もしくはこれからその立場になる方

実施日時

2015年10月5・6日(月・火) (2日間) 10:00~17:00

費用

80,000 円(税別)

講義内容

《1日目》

- 1章:視点を切り替える
これからの技術者
顧客のビジネス環境
視点の切り替え
- 2章:仮説立案と検証
要求の背景にある考え方
基本戦略の立案

【演習】

1. ビジネス環境の確認
2. 基本戦略の立案
3. ビジネスモデル化

《2日目》

- ビジネスモデルの活用
戦略の検証
- 3章:ビジネスゴールの設定
リスクと方向性を定める
定量化されたアクションプラン

【演習】

4. ビジネスモデルの検証
5. ビジネスゴールの策定

提案型SEのための業務再構築入門



概要

既存の業務改善のために新しいシステムを導入するだけでは、既存以上の業績を出すことはできません。コストの削減ではなく、売上を今以上に伸ばすように業務をデザインし直さなければ、顧客が望む成果は出せません。「新しい業務をデザインし、その業務をサポートするシステムを開発、導入する」。この流れが、顧客の要求を満たす高い価値を持ったシステムの開発を可能にします。本研修では、現行業務から新しい業務をデザインするためのリエンジニアリング手法と、そこからシステム化 要求を導く方法を学習します。

対象者

これから上流工程に携わる方
顧客に提案をする立場、もしくはこれからその立場になる方

実施日時

2015年10月19・20日(月・火) (2日間) 10:00~17:00

費用

80,000 円(税別)

講義内容

《1日目》

- 1章:ビジネス要求のとりまとめ
ステークホルダーと要求
どのようなビジネスなのかを明らかにする
ビジネス要求のとりまとめ
- 2章:ビジネスプロセスの可視化

- UMLの表記法
- UMLによるモデリングの留意点
- As-Isプロセスの可視化

【演習】

1. 作業項目の洗い出し(120min)
2. 工程の洗い出し(60min)
3. 担当者の洗い出し(60min)

《2日目》

- 3章:プロセス再構築の技法
プロセスの再構築:リエンジニアリング
プロセスの精度を上げる:シックスシグマ
ボトルネックに注力する:TOCとデミングサイクル
To-Beプロセスの立案
- 4章:ステークホルダーとの合意形成
ステークホルダーとの合意形成

【演習】

4. プロセスの無駄をなくす
5. プロセスの精度を上げる
6. ボトルネックをなくす

アジャイル開発マネジメント

(14PDU付与コース)



概要

昨今のグローバル化の波と共に複雑化したビジネス環境では、多くの企業で生き残りをかけた新たな価値創造が求められています。まさに企業変革、イノベーションが必須の時代です。これに伴い、さまざまな業界の開発スタイルは、かつての計画重視型から探索型、価値共創型、時間戦略型へと大きく変わりつつあります。その実現に向けて、アジャイル型開発マネジメント(スクラムScrum)に対する期待が米国のみならず、日本国内でも急速に高まっています。

このコースでは、企業全体のアジャイル(エンタープライズアジャイル)も視野に入れて、アジャイル開発マネジメントの中から代表的なScrum手法を活用してワークショップで体感しながら学んでいきます。

対象者

ウォーターフォールなど従来のシステム開発経験者
アジャイル開発(スクラムScrum)導入検討者
アジャイル開発(スクラムScrum)プロジェクトにこれから携わるプロダクトマネージャ、プロダクトオーナー、開発マネージャー、スクラムマスター、開発者

実施日時

2015年11月16・17日(月・火) (2日間) 10:00~17:00

費用

80,000 円(税別)

講義内容

<p>《1日目》 <午前> 第一章: アジャイル概要 1. 1 何故、今アジャイルなのか? 1. 2 アジャイルの価値 1. 3 アジャイルの特徴 1. 4 アジャイルの主な方法論 第二章: スクラムScrum概要 2. 1 スクラムScrum宣言 2. 2 スクラムScrumのプラクティス 2. 3 スクラムScrumの準備 <午後> 【演習】1: スクラムScrum実践演習1 ・スクラムScrumチーム組成 ・日次スクラムScrumミーティング ・スプリント計画ミーティング ・スプリント ・スプリントレビュー</p>	<p>《2日目》 第三章: エンタープライズアジャイルプロジェクトマネジメント 3. 1 複数の関連したプロジェクト間でのスクラムScrumの適用 3. 2 より大規模なプロジェクトへのスクラムScrumの適用 3. 3 複数関連プロジェクトの事例 第四章: アジャイルの価値/スクラムScrumの価値 4. 1 コミットすること 4. 2 集中すること 4. 3 オープンであること 4. 4 敬意を払うこと 4. 5 勇気を出すこと <午後> 【演習】2: スクラムScrum実践演習2 ・スクラムScrumの実施 ・経験による管理 ・スプリントの管理 ・リリースの管理</p>	<p>第五章: アジャイルの適用事例と組織導入への 阻害要因(討論) 5. 1 事例1 5. 2 事例2 5. 3 阻害要因と解決策 第六章: 自社の振り返り 本日の知見を、社内にどう持ち込むか?</p>
---	---	--

提案型SEのための要求定義入門



概要

提供するサービスそのものを魅力的にし、そのサービスを実現したり、補完したりするためにITを活用しなければいけないのです。

ユーザーエクスペリエンスデザイン の手法と心理学のひとつである行動分析学を用いて魅力あるサービスをデザインし、それをいかにしてITで実現していくかという方法を学びます。

対象者

これから上流工程に携わる方
顧客に提案をする立場、もしくはこれからその立場になる方

実施日時

2015年11月19・20日(月・火) (2日間) 10:00~17:00

費用

80,000 円(税別)

講義内容

<p>《1日目》 1章: 新しい顧客サービスを創造する 顧客サービスの設計 ユーザー中心設計とデザイン思考 ユーザーの分類と仮説思考 行動観察によるユーザー像の把握 ユーザー体験を最適化する ユーザー心理と行動分析 2章: 要求の定義とマネジメント 要求マネジメントとは何か 誰の要求をかなえたいのか 【演習】 1. 新しい問題を発見する(120min) 2. 問題の本質を見極める(60min) 3. 新しいサービスをデザインする(120min)</p>	<p>《2日目》 いったい何がしたいのか 要求の規模を見積もる 3章: 要件の定義 ユースケースを使った要件の探索 本当に実現可能な要件なのか 【演習】 4. システム化要求を洗い出す 5. 要求を見積もる 6. 要件に落としこむ</p>
--	---

提案・見積実践

(7PDU付与コース)



概要

ケーススタディを通して、ITプロジェクトを成功に導く提案書作成と、精度の高い見積スキルを身に付ける。

対象者

ITプロジェクト受注獲得に関わる方

実施日時

2015年7月16日(木) 10:00~17:00

費用

40,000 円 (税別)

講義内容

1. 要求仕様の明確化
2. 提案活動の概要
3. 提案書作成のポイント
4. 見積作成のポイント
5. FP(ファンクションポイント)法の概要
6. SPRファンクションポイント法による算出
7. ケーススタディ(見積作成)
8. 初期段階での見積精度を高めるには

ステークホルダーマネジメント実践

(7PDU付与コース)



概要

ステークホルダーに対して効果的に働きかけ、うまく味方につけたプロジェクト・マネジャーは、プロジェクトの多くを成功に導いている。

現場のプロジェクト・マネジャーが目的を達成するために、ステークホルダーの「期待を表現」し、「戦略を検討」し、「価値交換の促進に注力する」ことの大切さを習得する。

対象者

ITプロジェクト受注獲得に関わる方

実施日時

2015年8月20日(木) 10:00~17:00

費用

40,000 円 (税別)

講義内容

1. ステークホルダー・マネジメントの重要性
2. ステークホルダー・マネジメント概要
 - 【演習】
 - 1: 自身の過去のプロジェクトを振り返る
3. ステークホルダー・マネジメントの概要
 - 【演習】
 - 2: 「ステークホルダーの特定と関係性、期待を表現し、戦略を立案する」
 - 【演習】
 - 3: 「期待の変化を捉え、戦略を再検討する」
4. 影響力の法則
 - 【演習】
 - 4: 影響力の法則の実践活用演習

プロジェクトマネージャのための人間関係強化

(7PDU付与コース)



概要

プロジェクト・チームを効果的にマネジメントするために必要な人間系スキル(人間関係スキルと行動特性)を向上する。

対象者

ITプロジェクト受注獲得に関わる方

実施日時

2015年9月17日(木) 10:00~17:00

費用

40,000 円(税別)

講義内容

1. ITプロジェクト・マネジャーの成功条件
2. 優秀なプロジェクト・マネジャーのコンピテンシー
3. PMコンピテンシー診断
4. PMコンピテンシー向上アプローチ
5. プロジェクトにおけるリーダーシップ
グループ演習1:ERP導入プロジェクトにおけるリーダーシップ
6. プロジェクトにおける問題解決力
グループ演習2:問題プロジェクト原因分析
7. プロジェクトにおける達成と行動
グループ演習3:文具購入システム構築プロジェクトにおける達成重視
8. プロジェクトにおけるコミュニケーション
グループ演習4:相手に期待を伝える

プロジェクトマネジメント基礎

(7PDU付与コース)



概要

ITプロジェクトマネジメントを体系的に学び、プロジェクトマネジメントに必要な基礎技術とプロジェクトマネジメント技法を習得する。
これにより、モダン・プロジェクトマネジメントの感覚を身に付ける。

対象者

ITプロジェクト受注獲得に関わる方

実施日時

2015年10月22日(木) 10:00~17:00

費用

40,000 円(税別)

講義内容

1. プロジェクトマネジメント最新動向
2. ITプロジェクトマネジメントの特徴と必要スキル
3. プロジェクト失敗の原因
4. 契約業務の視点
5. プロジェクトマネジメント知識体系とは
6. プロジェクトマネジメント・プロセス解説
7. 【演習】

プロジェクトマネジメント実践

(7PDU付与コース)



概要

監視・コントロールに焦点を当て、ケーススタディ(失敗事例)を通してプロジェクト・マネジャーが管理面で留意すべきポイント(実績報告、問題管理、変更管理、コミュニケーション管理、品質管理)を理解する。

対象者

ITプロジェクト受注獲得に関わる方

実施日時

2015年11月9日(月) 10:00~17:00

費用

40,000 円(税別)

講義内容

1. プロジェクトの立上げと計画プロセスの確認
2. プロジェクトの実行プロセスの確認
3. ケーススタディ(失敗事例)
4. 結果発表(PC使用)・講評
5. プロジェクト監視・コントロールのポイント
6. プロジェクトマネジメント力強化の実際

Hadoopアプリケーション開発



概要

近年のIT分野において最もホットなトピックであるビッグデータの分散処理基盤としてApache Hadoopとその周辺テクノロジーが大きな注目を浴びています。本講座ではHadoopが生まれた背景と、近年のITにおける課題およびHadoopの必要性と目的を理解し、Hadoop導入・活用・管理手法の基礎を学習します。ハンズオン演習を通じてHadoopが提供する分散ファイルシステムHDFSのアーキテクチャと利用方法およびMapReduceと呼ばれるHadoopのフレームワークを使用した分散処理プログラミングの実践を学習します。

対象者

- ・Linuxの基本操作(研修では仮想マシン上のLinuxを使用してHadoopを動かします)
- ・プログラミング言語(研修ではJavaとEclipseを使用します)

実施日時

2015年7月30・31日(木・金) 10:00~17:00

費用

80,000 円(税別)

講義内容

1. 分散処理基盤Hadoopの概要
 - 1-1. Hadoopとは?
 - 1-2. Hadoopのディストリビューションと導入方法
 - 1-3. Hadoopクラスタの構造
 - 1-4. Hadoopの管理
2. 分散ファイルシステムHDFSの概要
 - 2-1. HDFSとは?
 - 2-2. HDFSのアーキテクチャ
 - 2-3. HDFSの操作
 - 2-4. HDFSのJava API
3. MapReduceとHadoopプログラミング
 - 3-1. MapReduceとは?
 - 3-2. MapReduce API
 - 3-3. MapReduceのデザイン・パターンとアルゴリズム
 - 3-4. 高度なMapReduceプログラミング
 - 3-5. HiveとPigを使ったHadoopプログラミング
 - 3-6. テストとデバッグの手法

NoSQL DBによるアプリケーション開発



概要

従来のRDBMSでは扱うことが困難なデータを扱うためのNoSQLデータベースの採用も急速に増えてきています。本講座では、NoSQLデータベースの利用方法を学習します。

対象者

・RDBMS ・Linuxの基本操作 ・Javaプログラミング
 ※ 本研修ではRDBMSは使用しませんが、NoSQLの理解においても、RDBMSの知識は不可欠です。また実習においてLinux(CentOS)上にDBを構築し、Javaプログラミングによるアプリケーションを作成します。Eclipseの知識は必須ではありませんが、研修では利用するためできればあった方がいいでしょう。

実施日時

2015年8月27・28日(木・金) 10:00~17:00

費用

80,000円(税別)

講義内容

《1日目》

1. NoSQLの概要
 NoSQL普及の背景
 RDBとNoSQL DBの違いと利用事例
 SQLのデータ・モデル
 NoSQLのアーキテクチャとテクノロジー
 NoSQL DBの分類と特徴
2. 列指向NoSQL DB「HBase(もしくはCassandraに変更になるかもしれません)」
 HBase(Cassandra)の概要と特徴
 HBase(Cassandra)の基本操作
 HBase(Cassandra)のデータ・モデリング
3. ドキュメント指向NoSQL DB「MongoDB」
 MongoDBの概要と特徴
 MongoDBの基本操作
 MongoDBのデータ・モデリング

《2日目》

4. グラフ指向NoSQL DB「Neo4j」
 Neo4jの概要と特徴
 Neo4jの基本操作
 Neo4jのデータ・モデリング
5. イン・メモリ型KVS「Redis」
 Redisの概要と特徴
 Redisの基本操作
 Redisのデータ・モデリング
6. NoSQL DBを利用するJavaアプリケーションの開発

データ・サイエンティスト入門:ビッグデータとデータ分析



概要

近年、モバイル端末の急速な普及とFacebookやTwitterなどに代表されるソーシャル・メディアやAmazon.comなどのBtoCビジネスの本格的な興隆によって、インターネット上では日々膨大なデータが生み出されるようになっていきます。

それに伴い欧米では、ビッグデータを効率的に分析し、戦略的にビジネスに活用するためのエキスパートであるデータ・サイエンティストと呼ばれる職種が大きな注目を浴びています。

本講座ではビッグデータの特性と活用事例を理解し、統計解析言語であるRなどを活用して、ビッグデータ分析のための基本理論とリコメンドーション・エンジンやスパム・フィルタなど統計的機械学習の基礎となる先進的手法を学習します。

対象者

- ・高校程度の数学の基礎知識
- ・なんらかのプログラミング言語知識
- ・RDBMSとSQLの基礎

実施日時

2015年8月31日(月) 10:00~17:00

費用

40,000円(税別)

講義内容

1. ビッグ・データの概要
 - 1-1. ビッグデータとは?
 - 1-2. 実際の企業に見るビッグデータの活用事例
 - 1-3. データ・サイエンティストとは?
2. 統計解析言語Rを使ったデータ分析とビジュアライゼーション
 - 2-1. R言語の基礎
 - 2-2. R言語によるデータ分析の実践
 - 2-3. R言語とRubyによる分析処理プログラミングの実践
 - 2-4. Webにおけるインタラクティブなデータの可視化
3. 先進的分析理論と手法
 - 3-1. K平均法クラスタリング
 - 3-2. アソシエーション・ルール
 - 3-3. 線形回帰とロジスティクス回帰
 - 3-4. 単純ベイズ分類
 - 3-5. 時系列分析とテキスト分析
 - 3-6. 決定木と機械学習

VMWare vSphere 仮想環境ネットワーク構築



概要

SAN や 10GbE などエンタープライズ環境で利用されているネットワーク機器を実際に利用し、仮想環境で必要な知識とスキルを習得。フェイルオーバー機能やリンクアグリゲーション機能など様々な機能について、物理環境側・仮想環境側で必要な設計・設定内容を理解していきます。

対象者

製品を問わず仮想化ソフトウェアの利用経験があり、仮想環境におけるネットワーク構築に興味のある方

実施日時

2015年10月29・30日(木・金) 10:00~17:00

費用

105,000 円(税別)

講義内容

- ネットワークアーキテクチャ
- 仮想スイッチ / NICチームング / VLAN / 分散仮想スイッチ
- ※ 実習比率40%

《ポイント》

Vmware 社公認トレーナーによる分かりやすい講義内容となっております。実運用で利用されているエンタープライズ機器を実際に触って設定。仮想化の基礎を理解した、ネットワーク側の次ステップに最適です。

WindowsによるLAMP開発



概要

Windows上に LAMP による開発環境を構築し、MySQL や PHP を使ったアプリケーションの開発を行います。Linux を用意しなくても、普段使っている Windows で簡単に Webアプリ の開発が行えるようになります。

対象者

Windows 環境で MySQL や PHP を使ったアプリケーションの開発を行いたい方

実施日時

2015年12月3・4日(木・金) 10:00~17:00

費用

94,000 円(税別)

講義内容

《カリキュラム》

- LAMP とは
- 開発環境構築
- MySQL の基礎 / Web アプリ による DB操作
- PHP の基礎 / PHP による DB 操作
- 本稼働環境へのアップロードと設定
- ※ 実習比率40%

《ポイント》

環境構築から実習で行うのは他の研修では見られません。また、ローカルの開発環境にて Webアプリ のデバックができるため、本稼働環境にて稼働させた際には、不具合の少ないシステムを開発することが出来ます。

ITILファンデーション試験対策 (試験付)



概要

ITIL v3 Foundation 資格取得をめざし、資格に頻出する分野の学習と問題演習を実施し、模擬試験を行った後、研修の終了日に、資格試験を行い、3日間で資格を取得するプログラムです。この3日間により、平均合格率80%の試験合格プログラムです。

対象者

ITIL、および IT サービスマネジメント初学者のうち、ITIL v3 Foundation 資格取得を目指す人材

実施日時

2015年7月27・28・29日(月・火・水) (3日間) 9:30~17:30

費用

150,000 円 (税別)

講義内容

<1日目>

講師自己紹介、会場説明、講義の進め方など
テキスト「はじめに」の説明 講義
序章 ITIL V3 ファンデーション試験の概要
第1章 ITIL 全体に関わる用語解説
顧客とユーザ
インシデント、問題、エラー
第2章 サービスマネジメントの概要
サービスとは
サービスマネジメントとは
機能、役割、プロセス
サービス・ライフサイクル
第2章 サービスマネジメントの概要 (続き)
【問題演習】
第3章 サービスストラテジ
サービスストラテジの概念
サービス・ポートフォリオ管理

第3章 サービスストラテジ (続き)
財務管理
需要管理
【問題演習】
第4章 サービスデザイン
サービスデザイン
サービス・カタログ管理
サービスレベル管理
第4章 サービスデザイン (続き)
キャパシティ管理
可用性管理
IT サービス継続性管理
情報セキュリティ管理
第4章 サービスデザイン (続き)
サプライヤ管理
【問題演習】

<2日目>

前日の復習 講義
第5章 サービストランジション
サービストランジションの概要
移行の計画立案及びサポート
変更管理
第5章 サービストランジション (続き)
サービス資産管理及び構成管理
リリース管理及び展開管理
第5章 サービストランジション (続き)
サービスの妥当性確認及びテスト
評価
ナレッジ管理
【問題演習】

<3日目>

問題演習・復習

本試験実施

LPI Level1 Exam 101 合格への道 (受験チケット付)



概要

LPI Level1 Exam 101 合格を目指したコースです。

対象者

LPI Level1 Exam 101資格取得を目指す方

実施日時

2015年8月6・7・8日(木・金・土) (3日間) 10:00~17:00

費用

75,000 円 (税別)

講義内容

1 : システムアーキテクチャ

- 1.1 ハードウェア設定の決定と構成
- 1.2 システムのブート
- 1.3 ランレベルの変更とシステム
のシャットダウンまたはリブート

2 : Linuxのインストールとパッケージ管理

- 2.1 ハードディスクのレイアウト設計
 - 2.2 ブートマネージャのインストール
 - 2.3 共有ライブラリを管理する
 - 2.4 Debianパッケージ管理を使用する
 - 2.5 RPMおよびYUMパッケージ管理を使用する
- 受験チケット配布

3 : GNUとUnixのコマンド

- 3.1 コマンドラインで操作する
- 3.2 フィルタを使ってテキストストリームを処理する
- 3.3 基本的なファイル管理を行う
- 3.4 ストリーム、パイプ、リダイレクトを使う
- 3.5 プロセスを生成、監視、終了する
- 3.6 プロセスの実行優先度を変更する
- 3.7 正規表現を使用してテキストファイルを検索する
- 3.8 viを使って基本的なファイル編集を行う

4 : デバイス、Linuxファイルシステム、ファイルシステム階層標準

- 4.1 パーティションとファイルシステムの作成
- 4.2 ファイルシステムの整合性を保持する
- 4.3 ファイルシステムのマウントとアンマウントをコントロールする
- 4.4 ディスククォータを管理する
- 4.5 ファイルのパーミッションと所有者を管理する
- 4.6 ハードリンクとシンボリックリンクを作成・変更する
- 4.7 システムファイルを見つける、適切な位置にファイルを配置する

確認テスト

筆者が教える

Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 7 合格への道



概要

Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 合格を目指したコースです。

対象者

Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 資格取得を目指す方

実施日時

2015年 9月10・11・12日(木・金・土) (3日間) 10:00~17:00

費用

75,000 円 (税別)

講義内容

- 1 Javaの基本
- 2 Javaのデータ型の操作
- 3 演算子と決定構造の使用
- 4 配列の作成と使用
- 5 ループ構造の使用
- 6 メソッドとカプセル化を操作する
- 7 継承の操作
- 8 例外の処理

確認テスト

受験チケット配布

VMware社認定資格VCA – DCV対策

(試験付)



概要

本コースは VMware 社認定資格 VMware Certified Associate - Data Center Virtualization (VCA-DCV) 認定資格対策講座です。従来から提供されている、VCP資格は仮想化エンジニア向けの内容となっていますが、本コースの VCA資格は一般的な IT技術者向けの入門編の試験内容となっています。vSphere とは何か、どのようなプロダクトがあり、どのような機能、メリットがあるのか、基礎的な内容を学習します。

対象者

仮想化の基礎を学習し、VMware 社の資格も同時に取得したい方

実施日時

2015年10月1・2日(木・金) 10:00~17:00

費用

128,000 円 (税別)

講義内容

- 仮想化について
- vSphere 製品群／仮想マシンの長所
- 可用性とスケーラビリティ

※ 実習比率30%

(本講座は試験付きです。)

《ポイント》

VMware 社が公式で提供している 150分の無料オンラインセミナーとは別にテキストと実機を使って目で見て手で触ってわかりやすい学習を行います。

最終日にはそのまま受験を行うことで知識がフレッシュなまま試験に挑むことができます。

※ VMware 社公式では VCA 対策講座は設けておらず本講座はオリジナルコースです。

営業強化検定試験対策



概要

ビジネス能力検定のサーティファイ社が行っている営業力強化検定に応じたコースです。営業力強化検定とは、売れる営業パーソンが共通して持っている「売れる要素」を抽出、単なるテクニックとしてではなく、なぜそうする必要があるかを理論的に習得しているかどうかを図る試験です。営業力強化検定を学習することにより、営業活動全般に関する知識を体系的に整理し、理論と実践を融合することで、顧客目線で考える、という営業の本質を捉えることができるように構成されています。

対象者

これから営業職に就く方、営業職で伸び悩んでいる方

実施日時

2015年10月9・10日(金・土) (2日間) 10:00~17:00

費用

50,000 円(税別)

講義内容

<p>営業理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業の位置づけ ・ 営業の役割 ・ 目標設定・計画策定 ・ 商品知識 ・ マーケティング ・ 顧客心理 	<p>営業技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マナー ・ 営業プロセス ・ コミュニケーション ・ 提案書の作成 ・ 販売促進 ・ クレーム 	<p>営業管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客管理 <p>営業力強化検定試験</p>
---	---	--

英語自己学習への道



概要

英語のコミュニケーション力向上に特化します。ヒヤリング、ビジネス会話、ビジネス・ライティング、リーディングの学習の目的に合わせて、練習内容をカスタマイズいたします。グループで切磋琢磨しながら、継続的に自己学習につなげるための基礎を作ります。英語学習の目的に沿ったスキルの習得に集中します。

対象者

ヒヤリング、ビジネス会話、ビジネス・ライティング、リーディングにおいて、学習目的を共有するグループ。また、目的を達成する意思のある方々。デジタル教材を使いこなせる方々。

実施日時

2015年10月14,28日,11月4,18日,12月1日(水) 19:30~20:30

費用

25,000 (税別)

講義内容

- ・ ヒヤリング：多彩なダイアログやモノログをヒヤリングし、単語や熟語を聞き取り、大意を掴みます。フォニックスにより耳の訓練も試みます。
- ・ ビジネス会話1：1分スピーチの実施、度胸をつけるシュミレーションによる対話練習、外国人とカジュアル・ディナー(別途料金がかかります)。発音矯正をして、音を聞き分け、自信を養います。
- ・ ビジネス会話2：時事問題をテーマとするディスカッション・ファシリテーションを行います。日本語で異文化理解についてディスカッションし、言語の背景にある文化について理解を深めます。
- ・ ビジネス・ライティング：メール・コレスポンドの多様な型を身に付けます。(感謝メール・依頼・確認など)
- ・ リーディング：短い記事を題材に熟語、構文など文法を日本語で説明し、理論的に構文を理解し、大意を掴みます。

『旅の指さし会話帳』による中国語入門



概要

前半は中国語の基本知識を紹介し、中国語の発音システムを中心に学ぶ。
後半は『旅の指さし会話帳4中国語』と『私の漢語教室(プリント)』を使用し日常会話及び簡単なビジネス表現を学ぶ。

対象者

中国語の発音システムの基礎を習得し、自己紹介、簡単な日常会話、挨拶、及び簡単なビジネス会話をしたい方

実施日時

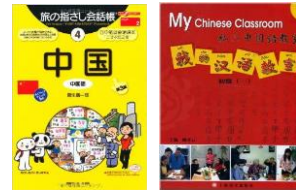
9月16日,10月7-21日,11月11,25日,12月2日(水) 19:30~21:00

費用

25,000 円 (税別)

講義内容

<p>第1回 你好！ 我叫……</p>	<p>1.你好など簡単な挨拶.中国語の簡単な紹介 2.単母音:a, o, e, l, u, ü 子音:b, p, m, f 3.声調 1.第1回の復習 2.子音d, t, n, l, g, k, h, j, q, x 3.簡単な自己紹介 4.『指さし会話帳』P12</p>	
<p>第2回 你、我、他 你是英国人吗？</p>	<p>1.第2回の復習 2.『漢語教室』第2課の単語.発音練習 3.複母音:ai, ao, ei, ou, an, en, in, ang, eng, ing, ong 1.第3回の復習 2.子音"z, c, s, zh, ch, sh, r 母音 4.『私の漢語教室』課文(プリント)</p>	<p>3.複</p>
<p>第3回 你有空吗？ 中間復習、会話練習</p>	<p>1.第4回の復習 2.複母音の残り、発音練習 3.『指さし会話帳』P14 1.子音と母音の総合練習.発音練習 2.第2課の残 3.会話練習</p>	
<p>第4回 “多少錢？ 現在几点？</p>	<p>1.発音の練習と復習 2.数字とお金 3.会話練習 1.第7回の復習 2.時間と月日 3.会話練習</p>	
<p>第5回 你家有几口人？ 做什么工作？</p>	<p>1.第8回の復習 2.家族構成.人間関係 3.会話練習 1.第9回の復習 2.職業 3.会話練習</p>	
<p>第6回 請問……？ まとめ</p>	<p>1.第10回の復習 2.住所を尋ねる 3.会話練習 1.全体の復習 2.テスト</p>	



ベトナム語自己学習への道



このコースはお問い合わせください

エッセンス150！「ビジネス文書」



概要

仕事やプロジェクトを進めるにあたって、社内、社外問わず文書化をして、合意や知見をしっかりと残しておくことが強く求められるようになってきました。ここでは、目的に応じた文書の構成と、分かりやすく、納得度が高い文章のポイントについて学習し、実践を通じて、短時間でしっかりとした文書を「書ける」ことを目指します。

対象者

SE/プロジェクトリーダー/プロジェクトマネージャー

実施日時

2015年7月29日(水) 18:30~21:00

費用

8,000 円 (税別)

講義内容

<p>《序章》 ビジネス文書の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ビジネス文書の種類と目的 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト報告書 ・トラブル報告書 ・提案書 ・議事録 ・etc <p>【ミニ演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題のあるビジネス文書 	<p>《第1章》 文書の基本構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 文書の基本構成とは <ul style="list-style-type: none"> ・文書の要素 ・目的を明確にする ・構成と目次 <p>【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な文書の構成を考える 	<p>《第2章》 わかりやすく、納得度が高い文章とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 文章をシンプルにする <ul style="list-style-type: none"> ・一文一意 ・一文50文字以内 ・箇条書きの活用 <p>【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. ビジネス文書の添削
---	---	--

エッセンス150！「ヒアリング」



概要

要件定義や、納期・価格などの諸条件の確認などの場面で、SE/プロジェクトリーダーのヒアリングはその後のプロジェクトの利益に直接関わる重要なものになってきました。ここでは、事前準備-何を誰からヒアリングするのか？ とヒアリング時-どのようにヒアリングするのか？ について、そのポイントを学習し、演習によって習得を目指します。

対象者

SE/プロジェクトリーダー

実施日時

2015年8月26日(水) 18:30~21:00

費用

8,000 円 (税別)

講義内容

<p>《序章》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ヒアリングのポイント <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、ヒアリングをするのか？ ・何を、誰から、ヒアリングをするのか？ ・どのように、ヒアリングをするのか <p>【ミニ演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なヒアリング 	<p>《第1章》 何を、誰から、ヒアリングをするのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ヒアリング相手が答えられること <ul style="list-style-type: none"> ・知っていること ・考えていること ・上記のうち、権限の範囲内と考えられること ■ ヒアリングしたいことを整理しておく <ul style="list-style-type: none"> ・To be と As is ・Cause-Result Chan (原因と結果の連鎖) <p>【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1? ヒアリング項目の洗い出し 	<p>《第2章》 どのように、ヒアリングをするのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 質問の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・オープン/クローズ ・水平/垂直 ■ 傾聴 <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴とは ・傾聴の効果 <p>【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2? ユーザーへのヒアリング
---	--	--

エッセンス150！「交渉力」



概要

クラウドやオフショアの広がりに伴い、案件はますます細分化され、短納期になってきています。いかに合理的な条件で交渉を成立させられるかが、利益確保の鍵と言ってよいでしょう。ここでは、交渉を、情報交換と合意形成の2つのフェーズに分け、単なる条件面での「お願い」ではなくお互いの納得度の高い合意を得られるスキルの習得を目指します

対象者

SE/プロジェクトリーダー/プロジェクトマネージャー

実施日時

2015年9月2日(水) 18:30~21:00

費用

8,000 円 (税別)

講義内容

《序章》

交渉とは

- 交渉の目標・目標とフェーズ
 - ・ 交渉の目的・目標
 - ・ 情報交換のフェーズ
 - ・ 合意形成のフェーズ
- 【ミニ演習】
- ・ 問題のある交渉

《第1章》

情報交換

- 情報交換の重要性
 - ・ なぜ、情報交換が必要なのか
 - ・ 表面上の要求のレベル
 - ・ 真の理由のレベル
- 真の理由に踏み込むステップ
 - ・ 表面上の要求を確認する
 - ・ win-winの意図を伝える
 - ・ 真の理由を尋ねる
- 【演習】
- 1?ユーザーとの交渉：情報交換

《第2章》

合意形成

- 提示案の準備
 - ・ 利害関係の整理 (対立/許容範囲/無関係)
 - ・ 対立を解消する糸口 (代替案/役割分担/広げて確約)
- メリットとして提示する
 - ・ 「こちらの都合」を「相手のメリット」に変える
 - ・ 2種類のメリット (+が得られる/?を避けられる)
- 【演習】
- 2?ユーザーとの交渉：合意形成

エッセンス150！「課題整理」



概要

プログラマーとSEの大きな違いは、顧客からヒアリングした情報を分析・整理し、システム要件に落としていくことができるか否かであると、よく言われます。ここでは、得られた情報を客観的譲歩と主観的情報、To be と As is、原因と結果などの観点で分析・整理していくポイントを学習し、その習得を目指します。

対象者

SE/プロジェクトリーダー

実施日時

2015年9月30日(水) 18:30~21:00

費用

8,000 円 (税別)

講義内容

《序章》

問題と課題

- 問題とは?
 - ・ To be と As is
 - ・ 問題と課題
 - ・ 問題と原因
- 【ミニ演習】
- ・ 情報を「問題」として整理する

《第1章》

主観的情報と客観的情報

- 情報の種類
 - ・ 客観的情報
 - ・ 主観的情報
- 【演習】
- 1・ヒアリング内容を客観/主観的情報に整理する

《第2章》

問題一原因/課題一解決策

- Cause-Result チェーン
 - ・ As is に関するチェーン
 - ・ To be に関するチェーン
- 【演習】
- 2・ヒアリング内容を整理する

エッセンス150！

「ファシリテーション-効果的な会議の進め方」



概要

ファシリテーションという言葉も一般的になり、しっかりと情報交換ができる/きっちり結論を出すために、いかに効果的に会議を進めるかが重要視されるようになってきました。

ここでは、事前準備も含め、短い時間で重要な問題を漏らさない情報交換や、参加者みな納得が得られる結論が出る効果的な会議の進め方について、そのポイントを学習し、演習によって習得を目指します。

対象者

SE/プロジェクトリーダー/プロジェクトマネージャー

実施日時

2015年10月14日(水) 18:30~21:00

費用

8,000 円 (税別)

講義内容

《序章》

ファシリテーションとは

■よい会議/悪い会議

- ・結果について
- ・プロセスについて

■ファシリテーションの範囲

- ・会議開始前
- ・会議開始後

【ミニ演習】

- ・「雑談」を「実のある会議」にする

《第1章》

会議開始前

■事前準備

- ・目的を明確にする
- ・条件を考慮する
- ・プロセスを設計する
- ・事前案内を作成する

【演習】

- 1・ユーザーとの会議を準備する

《第2章》

会議開始後

■会議のプロセスとグランドルール

- ・情報共有と合意形成
- ・課題分析と解決策の創出
- ・発散と収束 (意見出しとまとめ)

■会議開始時のファシリテーション

- ・目的・目標を伝える
- ・プロセス (アジェンダ) を伝える
- ・グランドルールを決める
- ・板書のポイント

【演習】

- 2・ユーザーとの会議を開始させる

コト (事・システム) 系とヒト (人) 系のフレームワーク



概要

ビジネスが“モノづくり”から“サービス”中心に変化している現在、現場では、小売やサービス業で有効な“フレームワーク”が必要とされています。

生産性の向上や創造性を高める方法は製造業とは大きく異なり、従業員=ヒトの動そのものが商品であるのが小売やサービス業です。

このコースでは、ヒト (人) に有効な2つのフレームワークを、実習を中心に学びます。

大脳生理学から生まれた「ハーマンモデル理論」を活用し、対立するコミュニケーションの改善方法とチームの生性向上方法を学びます。

また、セラピー (精神療法) から生まれた「リ्यूション・フォーカス」 (解決思考) を活用し、問題が発生した際の解決方法や会議の生産性・創造性向上の方法を学びます。

対象者

チームリーダー・リーダー候補、チーム運営でお困りの方

実施日時

2015年9月1日(火) 17:00~17:00

費用

20,000 円 (税別)

講義内容

組織・チーム内の対立原因
コト系とヒト系のフレームワーク
自分の思考スタイルを把握する

相手に合わせたコミュニケーション向上
思考の強み弱みを活かした創造性向上
原因追及と結果追求の違い
OSKARモデルのコーチング
チーム (ミーティング) で問題解決を図る

思いを実現させるための 自律した心と体づくり



概要

ベストセラーの著書でもあり予約のとれないパーソナルトレーナーだった山本ケイイチ氏は、東日本大震災後、復興支援活動を経て、宮城県に移住しています。現在は、漁師に転身し、漁業で生計をたてながら、己を「鍛錬家」と称して、地域で道場を開設しています。そこでは、整体や健康合宿を行い、人々の癒しと健康、そして生き方について説いてり、心と体の両面からの鍛錬を行っています。自信を持って仕事をこなし、自分の思いを実現させていくためには、健全な心と体が不可欠であることは言うまでもありません。当セミナーでは、その道場でも行っている整体ストレッチなどのボディーワークを行いながら、これからの時代に必要な、スキル、マインド、フィジカルについて楽しくご説明し、思いを実現させるための自律した心と体づくりについてお伝えします。

対象者

健康や生き方、心と体のつながりに興味のあるビジネスマン、リーダー、マネージャー層

実施日時

2015年9月2日(水) 18:30~21:00

費用

8,000 円 (税別)

講義内容

- ・これまでの生き方（東京での成功と学び、そして失敗）
- ・転機（東日本大震災からの学びと疑問）
- ・これからどのように生きるべきか（人が求めるものとは）
- ・筋トレ×ストレッチ実践（禅も行います）

山本ケイイチ氏 主な著書
 ・仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか (幻冬舎)
 ・人生を変えるフィットネス (ディスカバートゥエンティワン)
 ・老けない筋トレ (ワニブックス)
 ・病気になる前の運動法 (PHP出版)

監修雑誌・メディア
 ・ビジネスマンのためのフィットネスライフ (総監修)
 ・肩こり腰痛に効くエクササイズ
 ・鬱を吹き飛ばす5つのエクササイズ
 ・腹が凹む勝負の10日間
 ・絶対に腹を凹ませる3週間プログラム
 ・体脂肪を落とす1日10分のトレーニング
 ・R25カラダ企画監修



コース内容

考える力~多様な思考プロセスを習得~



概要

自らの成功パターンをつかみ自立的にパフォーマンスを出し始めた若手社員は、次は自らの力で考て仕事をしていくことで、新たな成長ステージへと上っていくことが出来ます。しかし、その「考え方」は過去の自分のやり方に知らないうちに縛られていることがほとんどで、且つ「考え方」の多様なアプローチの学習も個人に任されているのが実情です。「考える力」は、“考え方”の特徴的なパターンを4種類に類型化し、ビデオ・グループディスカッション・ケーススタディなどを通じて、若手社員が 仕事において「適切な方法で考える」ことをサポートするプロセスを提供する2日間の集中的なトレーニングプログラムです。

対象者

入社3年目までの方

実施日時

2015年7月13・14日(月・火) (2日間) 10:00~17:00

費用

50,000 円 (税別)

講義内容

考えるとは？
 考え方の違い
 それぞれの思考スタイル
 エビデンスとストーリー
 エビデンスとその収集方法
 分けると比べる
 もれなくダブリなくという考え方

ビジョンから考える
 ビジョンに向けた行動を考える
 連続性と飛躍性の対比と転換

学ぶ力～新人フォロー・2年目フォローのため～



概要

OJTやOff-JTである一定レベルまで情報（仕事のやり方、顧客情報、ノウハウ等）を蓄積することで、仕事上のパフォーマンスが急速に上がります。

しかし、肝心の「自分と情報との接し方」は各個人に任せられているのが実情です。

「学ぶ力」は、情報からの学び方を4種類に体系化し、グループディスカッション・ケーススタディなどを通じて、新入社員～若手社員の情報収集・吸収力を最大化するための、2日間の集中的なトレーニングプログラムです。

自ら「学ぶ力」を身に付けることで、新人～若手社員の早期戦力化を目指します。

対象者

入社3年目までの方

実施日時

2015年7月21・22日（火・水）（2日間） 10:00～17:00

費用

50,000 円（税別）

講義内容

1. 学ぶとは？
あなたの学びを整理する
学びのチェックリスト
2. 受け止めるとは？
レセプターという考え方
レセプターを増やす
3. 知るとは？
知るための基本ステップ
目的、目標、リソースのリストアップ等

成長する力～仕事を通じて成長をすることは～



概要

仕事におけるパフォーマンスを発揮しはじめた若手社員が陥りやすいのは、目的化された“忙しさ”への没頭です。

ある一定レベルまでは“忙しさ”と“成長”が正比例しますが、“忙しさ”が目的になると成長と反比例しはじめます。

結果として、貴重な仕事経験は消費・浪費され、次の成長へと蓄積されません。

しかも、仕事経験を自らに蓄積して次の仕事に活かす方法の学習も個々に任せられています。

「成長する力」は、仕事経験蓄積型へのプロセスを、ビデオ・グループディスカッション・ケーススタディなどを通じて学習し、若手社員の仕事経験からの成果・成長を最大化するための、2日間の集中的なトレーニングプログラムです。

対象者

入社3年目までの方

実施日時

2015年9月8・9日（火・水）（2日間） 10:00～17:00

費用

50,000 円（税別）

講義内容

1. 成長するとは？
仕事を通じて成長する人、しない人
経験を蓄積するとは？
2. 仕事を定義するとは？
目標、活動項目、学びのフレーム
3. 仕事をコントロールするとは？
2種類の先読み
先延ばしへの対処
行動を促す
4. 成長を解釈する
やり遂げたことの整理
経験を記憶に残すためのフレーム
経験のラベリング
5. 次の仕事で活かせることを考える
次の仕事で活かせる領域
キャリアプラン

クランボルツ教授監修「キャリアレバレッジ」



概要

組織の「経験学習」を実現するために・・・
 先輩／上司／先人の経験を聞き、自分の知見に転換できるフレームを持つ
 実際に先輩／上司／先人の経験を聞き、フレームに当てはめて対話し、知見を得る
 今の自分に役立てる内容を定義し、仕事の中で適用する
 →知識の勉強／スキルの練習・訓練・チャレンジ／ 行動の判断基準を持つ（KSA）

対象者

入社7年目までの若手社員

実施日時

2015年10月21日(水) 10:00～17:00

費用

25,000 円（税別）

講義内容

1. オリエンテーション
 - ・コースの目標
 - ・コルプの学習経験理論と本コースのコンセプト
 - ・クランボルツの“HLT”と本コースのコンセプト
 - ・事前課題の共有
2. 理論習得演習
 - ・ドラッガー「Must-Can-Will」【演習】
 - ・Bandura「自己効力感」【演習】
 - ・Krumbolts「計画された偶然」【演習】
3. ケーススタディによるフレーム習得演習
 - ・ケーススタディの読み込み
 - ・ケーススタディの整理
4. 相互演習によるフレーム習得
 - ・自分の経験を相手に伝え、整理する
 - ・フィードバック
5. 事後課題の準備
 - ・事前課題で定義した人へどのように経験を聞くかを定義する。

経営シミュレーション

～飛行機会社でBS・PLを知る～



概要

異なる高さ・異なる角度からものごとをみる訓練 ・ 経営者の視点から会社を見る
 会社と経営の仕組みがわかる・利益の意味と創造方法がわかる・決算書がよめるようになる

対象者

入社10年目までの若手社員

実施日時

2015年7月13・14日(月・火) (2日間) 10:00～17:00

費用

50,000 円（税別）

講義内容

- 1.P・D・C・Aと決算書の仕組み
- 2.生産工程の改良と販売の準備
- 3.経営理念と組織編成
- 4.プロモーションと商品のライフサイクル
- 5.人材の採用
- 6.資金調達とM&A
- 7.価格決定と研究開発
- 8.株主総会

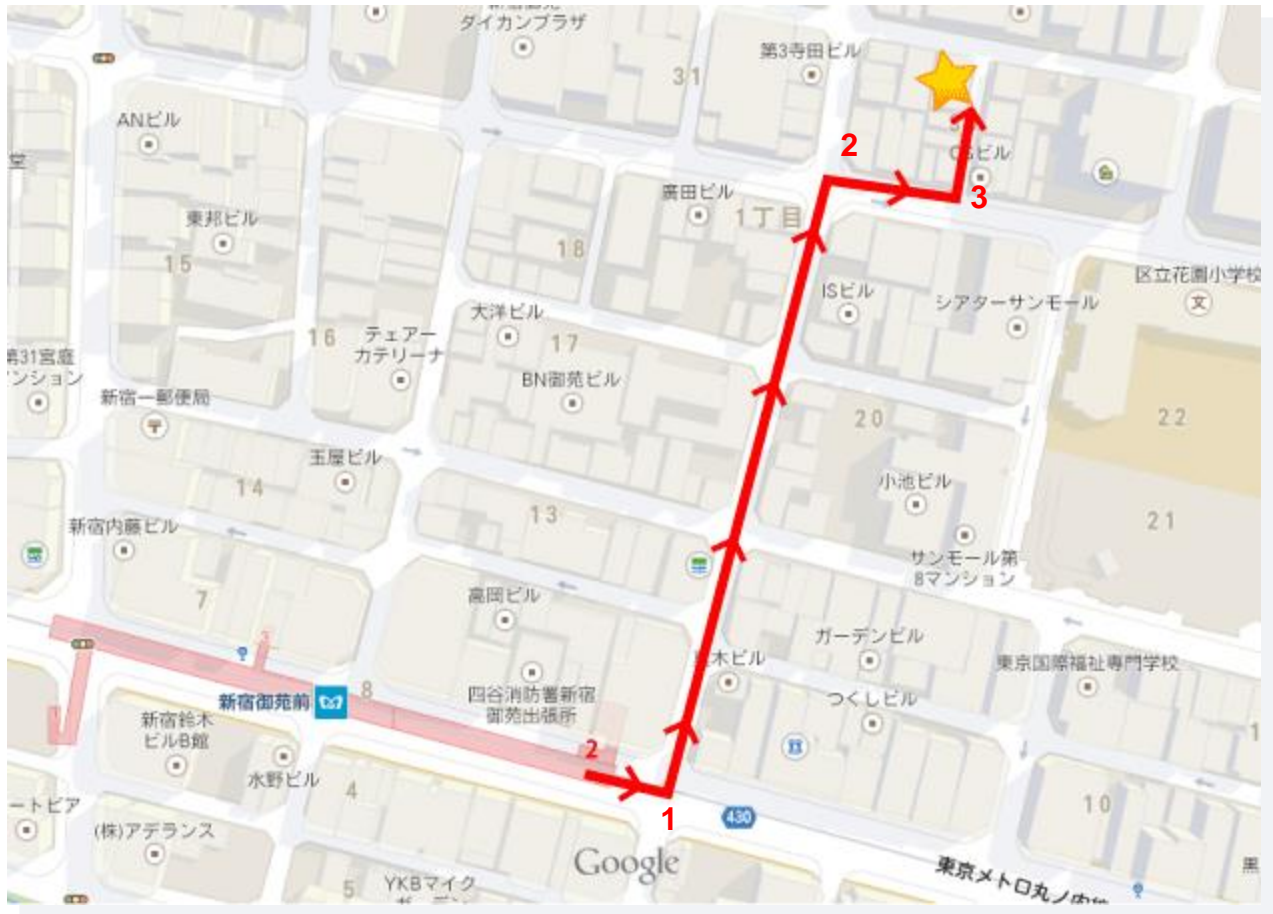


NV・i3 セミナールーム

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1丁目 30-11 ビル・プランタン 6F

電車でお越しの方：丸の内線「新宿御苑前駅」出口2より徒歩5分

- 新宿御苑前駅出口2の階段を上り、
1. 地上に出て左手最初の交差点（新宿御苑駅前）を左折、直進。
 2. すき家のある十字路で花園医院側に渡り右折、
 3. 一つ目のT字路を左折、突き当たる手前の左手のビルです。



昼食はビルの前のうどん屋がおすすめです。
近くに飲食店はたくさんありますが、
お昼は少し混みます。





必要事項にご記入の上、FAXまたはメールにてお申込みください。弊社よりご連絡申し上げます。
 また、下記URLをご参照ください。
 ※印は必須項目です。

申込責任者の記入をお願いします。	
※フリガナ	
※お名前	
※御社名/勤務先名	
部署名	
※ご連絡先お電話番号	()
※メールアドレス	@
※ご住所	〒
参加コース名	参加人数 名
参加コース名	参加人数 名
参加コース名	参加人数 名
まなビレッジを 何から知りましたか？	<input type="checkbox"/> 検索サイト <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> Twitter <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> その他

まなビレッジ 申込URL
<http://seminar.nowvillage.jp>



まなビレッジ 申込URL http://seminar.nowvillage.jp

1 申込URLへアクセスしてください。



新着コースの中から申し込みたいコースをお選びください。
選びたいコースがない場合はコースリストから選びください。

2 コース詳細画面で申し込み



申し込み人数を選び、申込を押下してください。

3 コース確認・お申し込み



金額をご確認の上、お申し込みください。

4 お申し込み情報のご入力



お申し込み情報を入力してください。
※の入力は必須項目です。

5 コース確認・お申し込み



最終的な申込内容を確認の上、送信を押下してください。

6 申込内容確認メール



申込み確認のメールが届きますので、ご確認ください。

